

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。

阿部さんに直接教わる

1/18 阿部雅司の「歩くスキー教室」



市スポーツ振興アドバイザーの阿部雅司さんによる「歩くスキー教室」が各小学校や一般向けに行われています。この日は浅江島公園で一般向け教室と中名寄小学校で児童を対象に行われました。

笑いで寒さを吹き飛ばす

1/25 ナヨ口寄席



市民文化センターEN-RAYホールで行われました。この寄席は今回で5回目を迎え、林家つる子さん、柳家さん蕎麦師匠の嘶のほか、林家あずみさんが漫談と三味線で会場を暖めました。



2/3 鬼追い祭り



今年も節分を楽しく盛り上げようと、市内各地で金棒を手にした赤鬼と青鬼が出現。豆で鬼たちを追出すと、福の神が登場して無病息災や五穀豊穡などを祈願しました。

鬼がやってきた!

暗闇の中に「トラえもん」が出現

2/4 総合福祉センターでスノーランタン



南地区地域づくり協議会が主催のスノーランタンの集いが行われ、名寄南小学校の児童や地域住民などおよそ250人が参加。雪の塊を切り出してランタンを作り、日が暮れると火を灯していきました。



2/10~12 なよろ雪質日本一フェスティバル



南広場を会場に開催されました。開会式は11日に行われ、大雪像「シン・ゴジラ」の制作にあたった陸上自衛隊名寄駐屯地から大雪像の引き渡しと関係企業などへ感謝状の贈呈の後、テープカットを行いイベントがスタート。ステージイベントでは、どら焼きまきのほか、あすばらぶwithからふりていやよさこいの披露などが行われ、会場内では「星☆きれいな南市場」や大雪像のすべり台、スノーモービル遊覧を多くの人々が楽しみました。また、初の開催となる「全日本雪上5色綱引き大会」には19チームが参加し、賞金を巡って熱い戦いが繰り広げられました。

国際雪像彫刻大会はタイチームが優勝

2/18~19

## ふうれん冬まつり



風連地区の冬の大イベント



風連仲町特設会場で開催。会場には地域内外から多くの来場者が訪れ、目玉イベントの全日本長靴飛ばし選手権では、賞金を狙って参加者が勢いよく長靴を飛ばし距離を競い合いました。



2/11

## 名寄市ホワイトマスター授賞式

利雪親雪の見本となる団体・個人に贈られる称号



2016年度ホワイトマスターの授賞式が北国博物館で行われました。今年度は「名寄カーリング協会ジュニアクラブ」が受賞。加藤市長からホワイトマスターの称号が贈られました。



2/18

## 北の天文字焼きがギネスに認定

巨大な火文字がギネスに



北の天文字焼き実行委員会が主催する「北の天文字焼き2017」が2月18日に開催されました。市内旭東の太陽の丘で「天」の文字に並べられたドラム缶を書き順に合わせ点火し、「天」の火文字が完成すると花火が打ちあがりました。また、今年は「アウトドア・バーナーを使用した最大の炎のイメージ」として、ギネス世界記録に認定。市内百貨店屋上で認定式が行われ、横澤博実行委員長に認定書が授与されました。



PICK UP

## 東京なよろ会 名寄ピヤシリスキーツアーで訪問

ふるさとの冬を満喫

主に首都圏在住で名寄市に縁のある会員で構成される「東京なよろ会」の冬の恒例行事「名寄ピヤシリスキーツアー」が今年も開催され、1月から2月の間に4ツアー延べ150人がピヤシリスキー場、道立サンピラーパークカーリングホールなどで冬の名寄を満喫しました。夜の懇親会には、東京なよろ会との市民レベルの交流団体である名寄サンシャイン会の役員も駆け付け、今後の末長い交流を誓い、親睦を深めました。



◆開催日と参加者数 1月19～23日(Aコース)…48人 / 1月26～30日(Bコース)…20人  
2月16～20日(Cコース)…46人 / 2月24～28日(Dコース)…36人